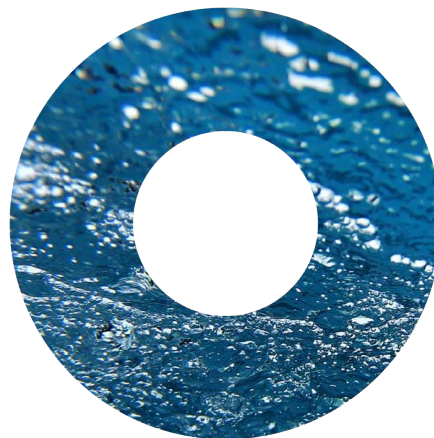


エネルギー政策関連審議会の構成等について

レポート「日本の政策決定プロセス
～エネルギー基本計画の事例の検証～」より

安井 裕之 Hiroyuki Yasui

公共政策ディレクター Director, Public Policy
hyasui@climateintegrate.org



16 May 2024

Profile

安井裕之 Hiroyuki Yasui

一般社団法人 Climate Integrate 公共政策ディレクター

大学卒業後、事業会社で国内外における新規事業投資プロジェクトに係る規制課題の調査・分析、コンプライアンス体制の構築・強化に従事。

2017年に公共政策コンサルティングを専門とするマカイラ株式会社に参画。社会変革につながる新しいビジネス領域を中心に、政策提言や政府・自治体・NPO等との関係構築・連携支援を行う。一般社団法人シェアリングエコノミー協会でも、公共政策部長として、シェアリングエコノミーに関わる制度改革の実現や安心安全な利用環境の整備に向けた提言活動を展開している。

2024年、Climate Integrateに参加。京都大学法学部卒業。



気候政策シンクタンク

一般社団法人 Climate Integrate

- 持続可能な社会の実現のために、調査分析・対話・コミュニケーションを通じて政策と行動を促進
- 科学と政治と社会をつなぐ統合的なアプローチでさまざまなアクターの脱炭素への取り組みを支援



日本の政策決定プロセス

エネルギー基本計画の事例の検証



Policy Making Process in Japan

Strategic Energy Plan as a Case Study

- I. 本レポートの目的：日本のエネルギー政策決定プロセスを検証する 02
- II. 日本の気候・エネルギー政策の枠組み 02
- III. エネルギー基本計画の審議構造と審議会等の運営 04
 - 1. 審議の場と設置根拠
 - 2. 審議会等の運営に関する指針
- IV. エネルギー基本計画の決定プロセスの検証 05
 - 1. 検証の対象と特徴
 - 2. 第6次計画と第7次計画（見直し）の審議構造
 - 3. 検討経緯
 - 4. 委員構成
 - 1) 業種
 - 2) 年齢
 - 3) 性別
 - 4) スタンス
- V. まとめ 16

Published by
Climate Integrate
April 2024

政策決定プロセスレポートの目的

- エネルギー基本計画の見直しに向けた検討が始まった
- 政策の中身だけでなく、政策の「決め方」も重要
- エネルギー基本計画を事例として政策決定プロセスを検証

図1 日本の気候・エネルギー政策の枠組み

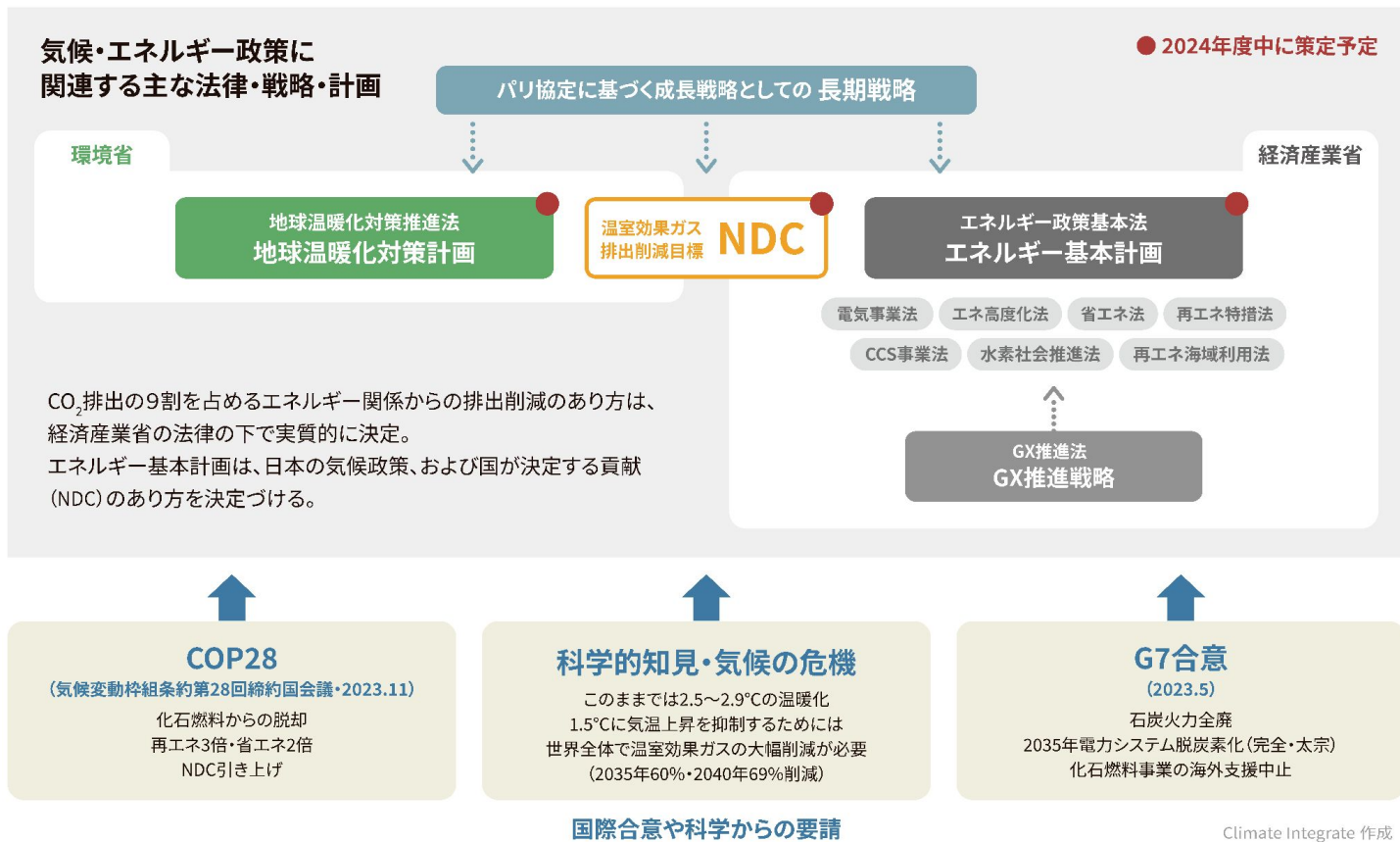
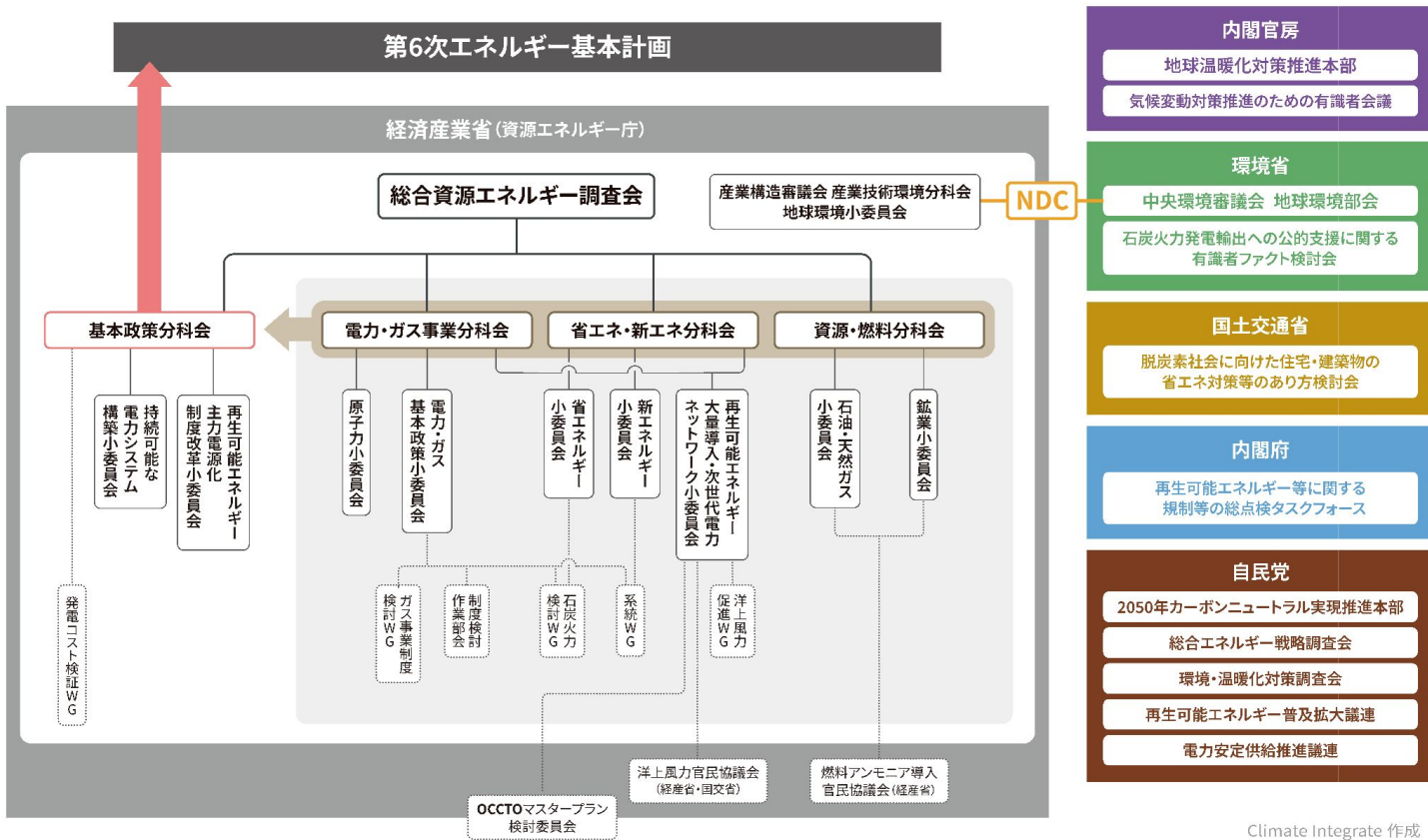
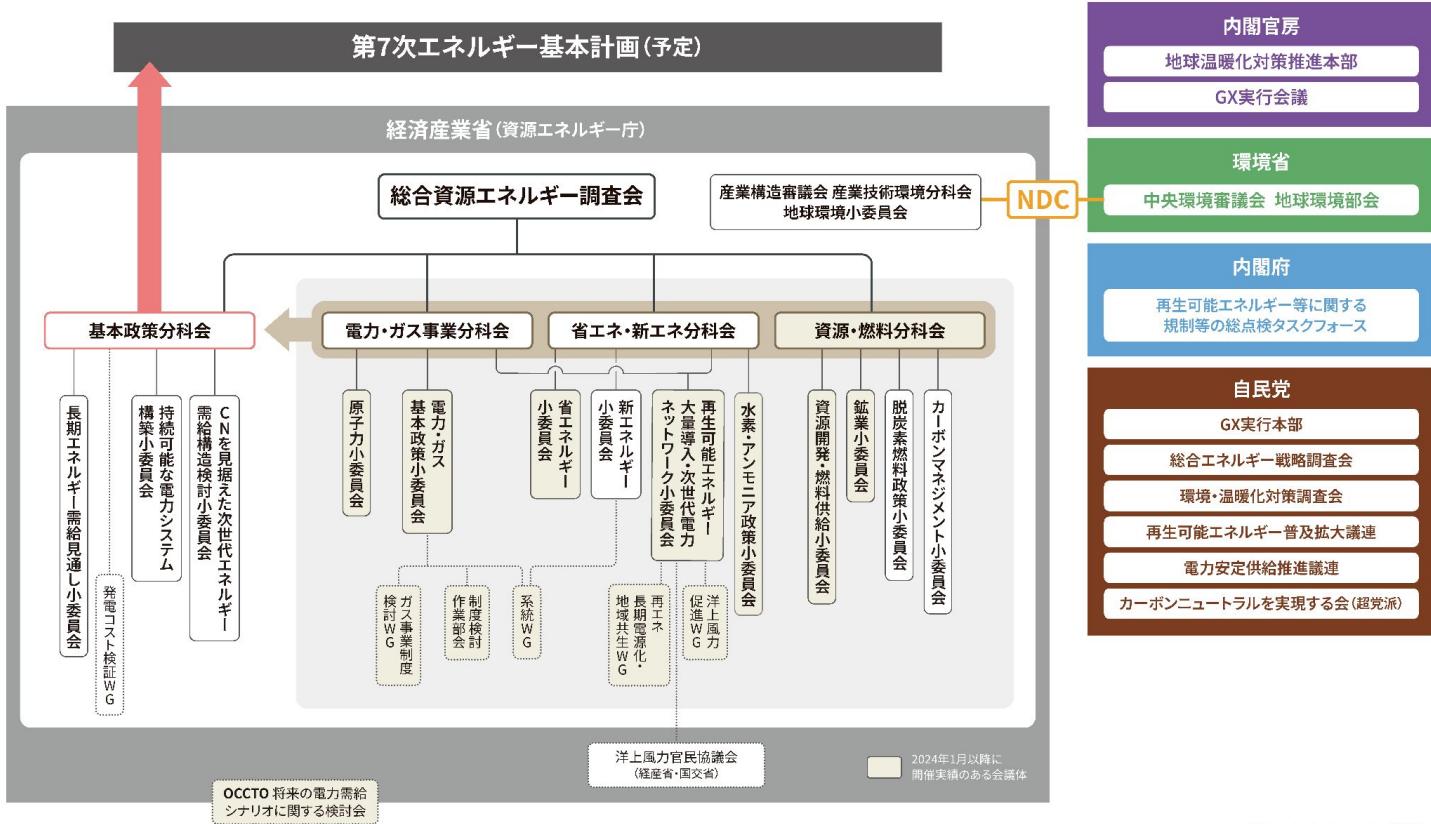


図2 エネルギー基本計画の審議構造（第6次エネルギー基本計画策定時：2020-2021）



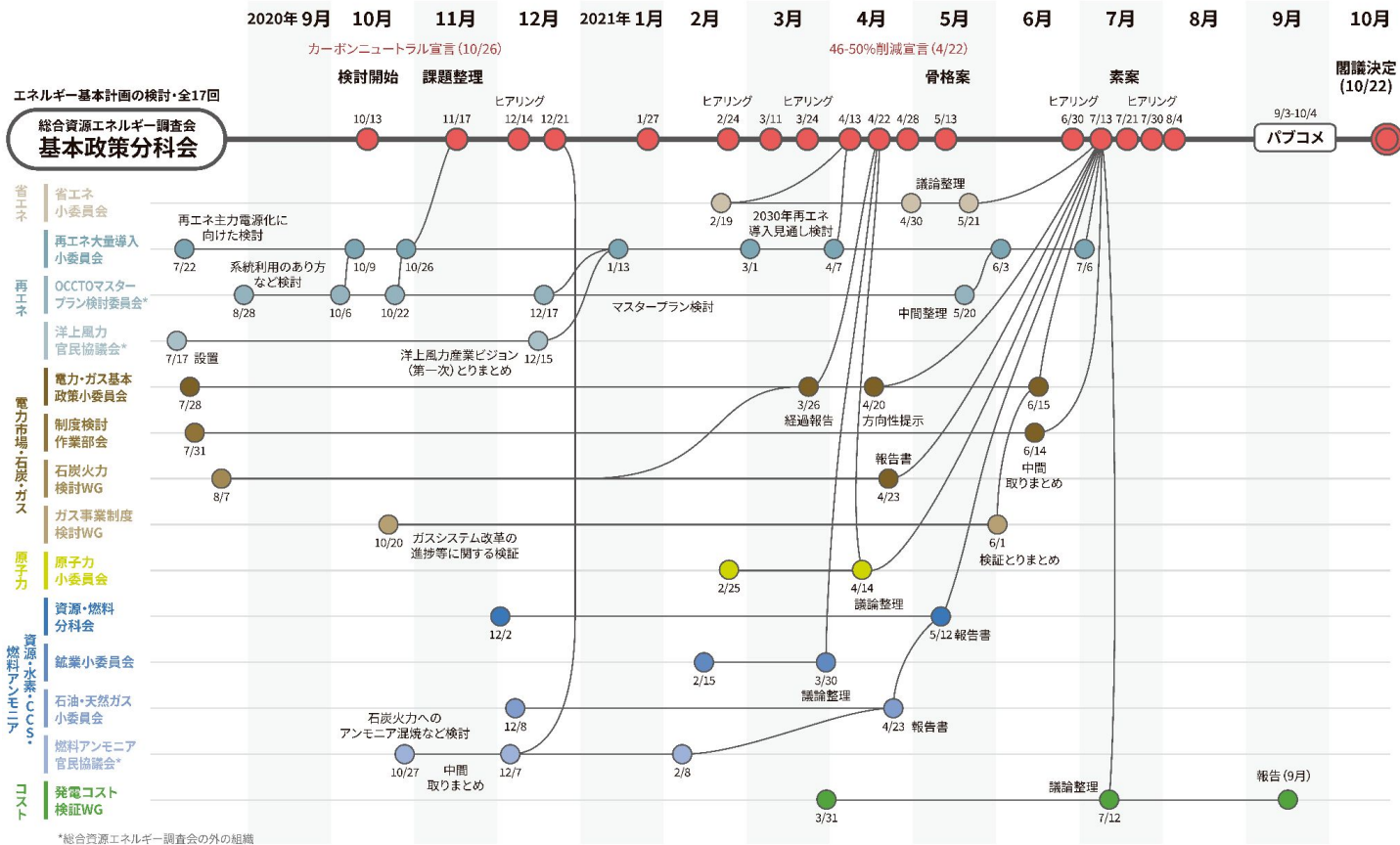
Climate Integrate 作成

図3 エネルギー基本計画の審議構造（第7次エネルギー基本計画策定見通し：2024.4現在）



Climate Integrate 作成

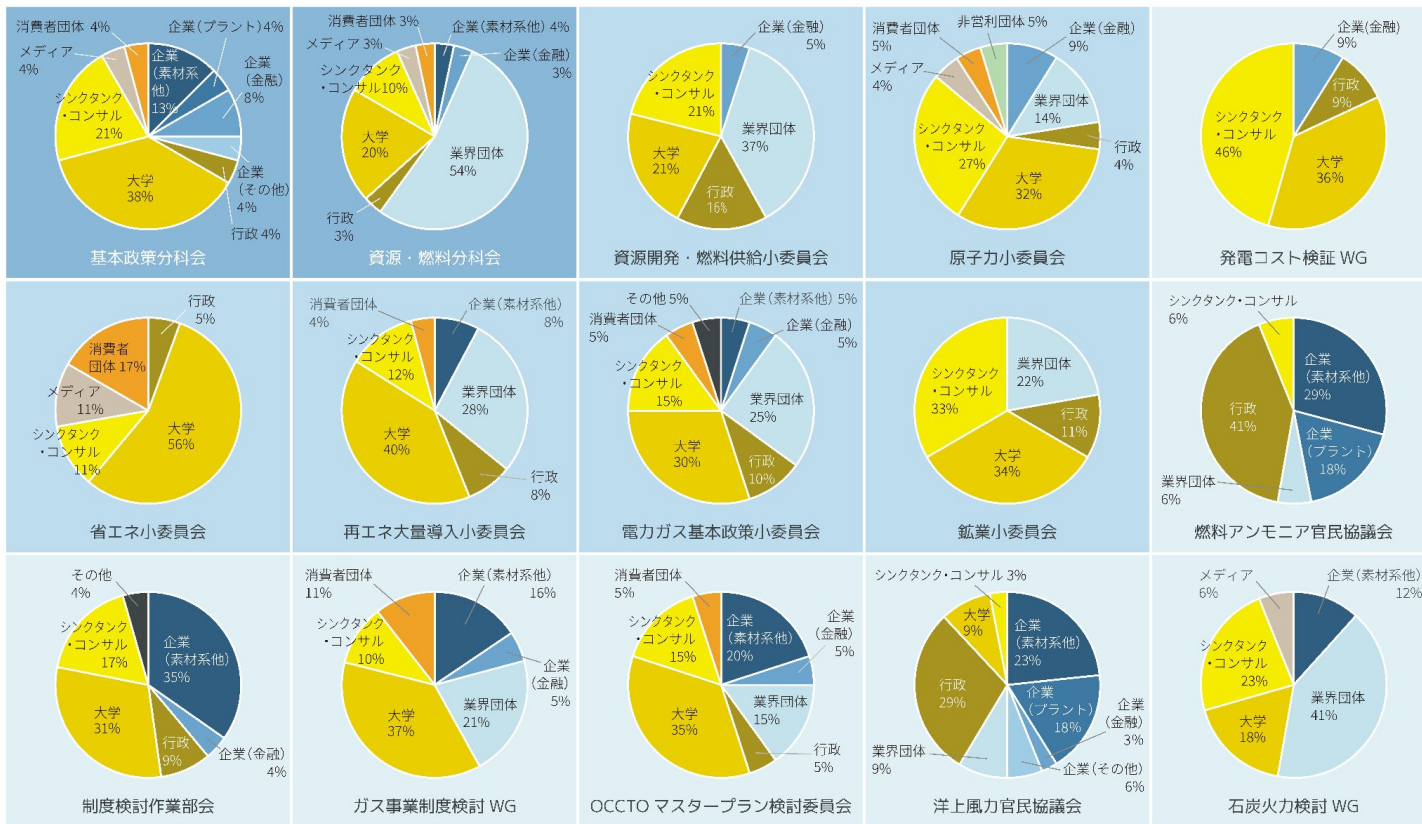
図4 第6次エネルギー基本計画の検討経緯（2020-2021）



審議会等の運営に関する指針（1999.4.27「審議会等の整理合理化に関する基本的計画」より要旨抜粋）

- **委員構成**：意見、学識経験等が公正かつ均衡の取れた構成であること
- **委員選任**：府省出身者の任命は厳に抑制。特に審議会等の所管府省出身者は、必要な場合を除き選任しない
- **高齢者**：職責を十分果たしうるよう、原則として選任しない
- **兼職**：一の者が就任できる委員総数は原則として最高 3、特段の事情がある場合でも 4 を上限
- **任期**：原則 2 年、再任を妨げないが、10 年を超えて継続任命しない
- **女性委員**：府省編成時から約 10 年以内に 30 % に高めるよう努める

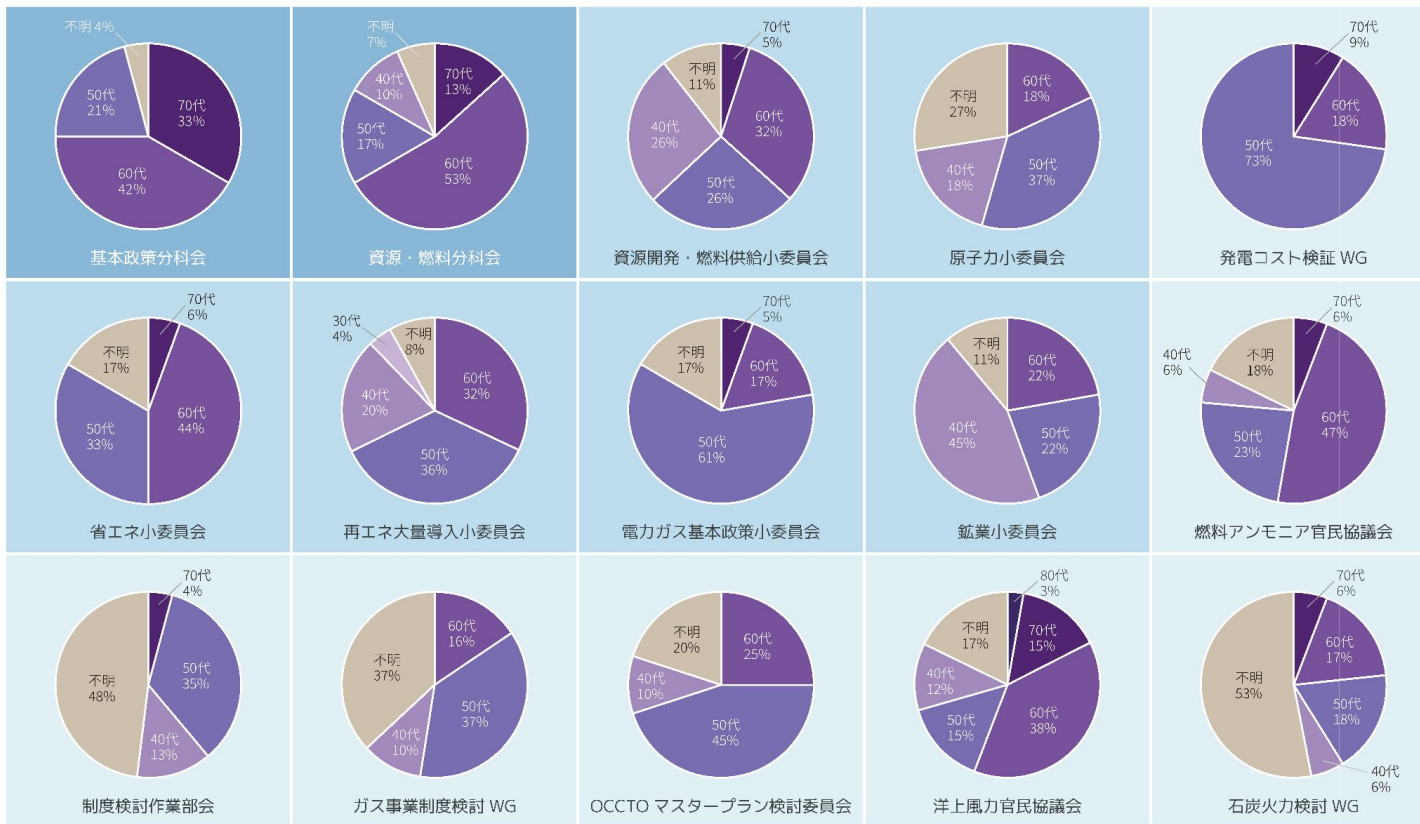
図5 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（業種）



※「企業（素材系他）」は「企業（素材系、資源・エネルギー供給、運輸）」とする。また、グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

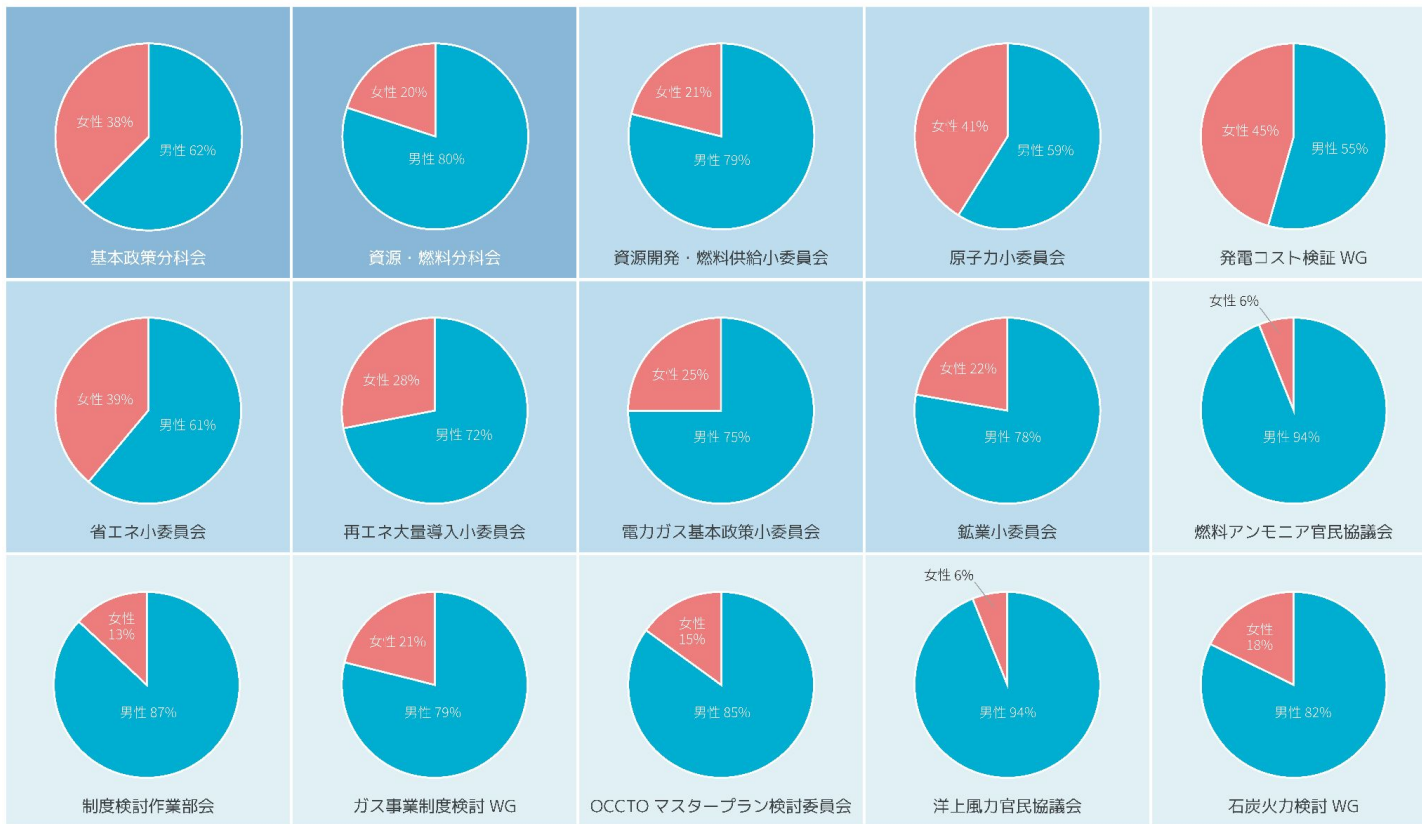
図6 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（年齢）



※グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

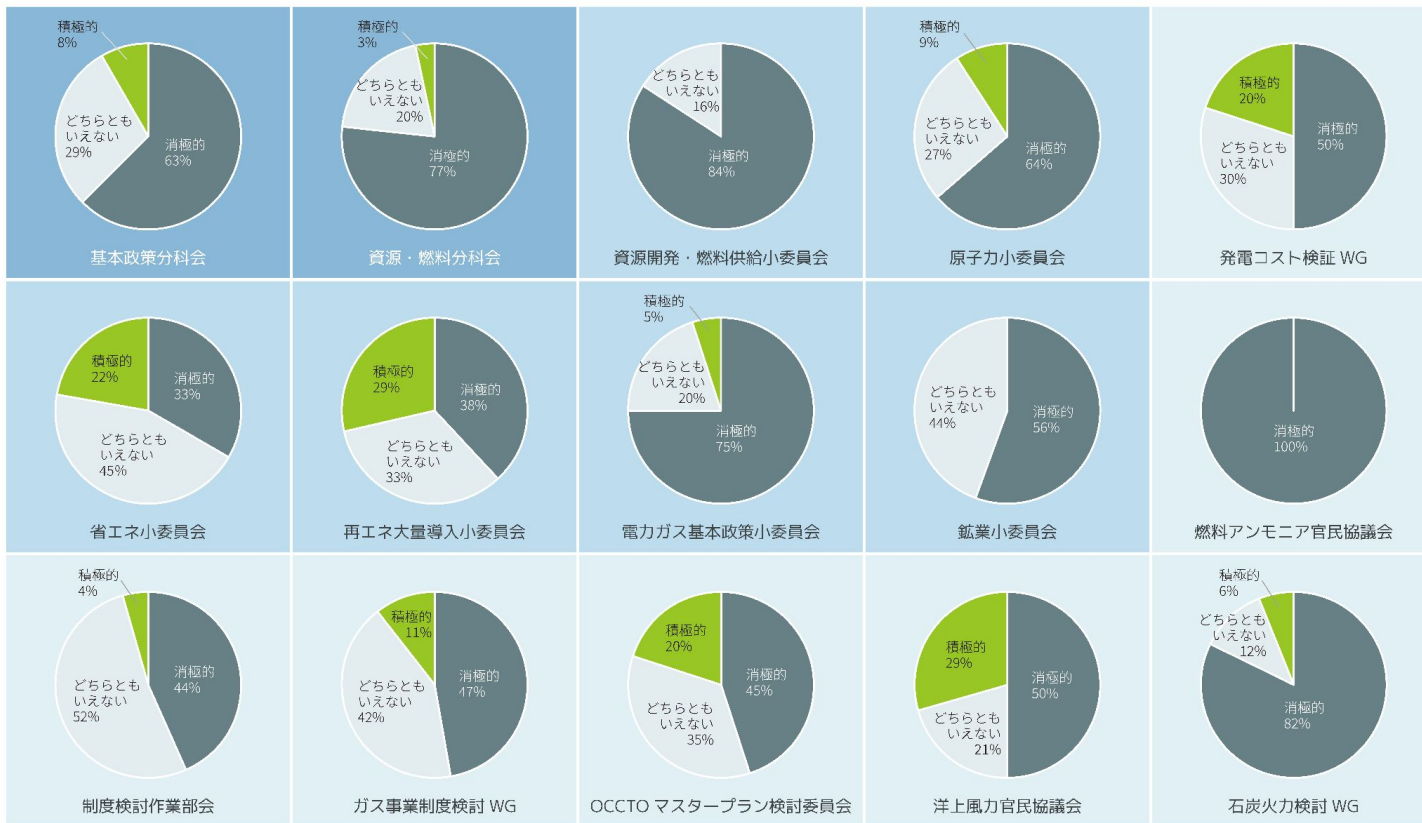
図7 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（性別）



※グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

図8 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次-第7次）（スタンス）



※化石燃料を中心にした既存システムからの脱却に対する姿勢を独自の判断基準に基づき評価した。また、グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG 等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

まとめ

- 議論の専門性を確保しつつも、業種・年代・性別・意見の多様性に配慮した、より民主的な政策決定プロセスを追求すべき
- 審議会を中心としたプロセス自体を問い直すことも検討する必要
- 本レポートが、今後の日本の気候・エネルギー政策の決定プロセスの公正と均衡が図られるきっかけとなることを期待する

参照：レポート「[日本の政策決定プロセス：エネルギー基本計画の事例の検証](#)」2024.4.26

Change is Possible!

ご清聴ありがとうございました

